

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	担 当 教 員
組織学	必修	講義1 実習1	2	1	月-金 不定期	濱田・千葉・三浦・二宮・久保

【科目名の英文】 Histology

【授業の概要・到達目標】

ミクロ的視点（組織・細胞レベル）から、血液・造血器・リンパ系、神経系、皮膚系、運動器系、循環器（心血管）系、呼吸器系、消化器系、腎・尿路系、生殖器系、内分泌・代謝系、視覚器系、耳鼻・咽喉・口腔系の正常構造と機能を理解する。光学顕微鏡による組織標本の観察から、各器官を同定する。

具体的な到達目標	医学科ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 人体の正常構造をミクロ的視点（組織・細胞レベル）から説明できる。	○		○			○
2. 光学顕微鏡による組織標本の観察から、各器官を同定することができる。	○		○			○
3.						
4.						

【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	総論講義1	イントロ・上皮組織（1）	濱田	講義
2	総論講義2	上皮組織（2）	濱田	講義
3	総論講義3	結合組織	濱田	講義
4	総論実習1	イントロ・上皮組織	濱田	実習
5	総論実習2	結合組織	濱田	実習
6	総論講義4	骨・軟骨	濱田	講義
7	総論実習3	骨・軟骨	濱田	実習
8	総論実習4	上皮組織・結合組織・骨・軟骨（復習1）	濱田	実習
9	総論講義5	筋	二宮	講義
10	総論実習5	筋	二宮	実習
11	総論講義6	血球・脈管	久保	講義
12	総論実習6	血球・脈管	久保	実習
13	総論講義7	神経	濱田	講義
14	総論実習7	神経	濱田	実習
15	総論実習8	筋・血球・脈管・神経（復習2）	濱田	実習
16	各論講義1	平衡聴覚器	濱田	講義
17	各論実習1	平衡聴覚器	濱田	実習
18	各論講義2	視覚器	三浦	講義
19	各論実習2	視覚器	三浦	実習
20	各論講義3	消化器1	濱田	講義
21	各論実習3	消化器1	濱田	実習
22	各論講義4	消化器2	濱田	講義
23	各論実習4	消化器2	濱田	実習
24	各論講義5	消化器3	濱田	講義
25	各論実習5	消化器3	濱田	実習
26	各論講義6	消化器4	濱田	講義
27	各論実習6	消化器4	濱田	実習
28	各論講義7	呼吸器	三浦	講義
29	各論実習7	呼吸器（1）	三浦	実習
30	各論実習8	呼吸器（2）	三浦	実習
31	各論実習9	視聴覚器・呼吸器・消化器（復習1）	濱田	実習
32	各論講義8	内分泌	千葉	講義

33	各論実習 1 0	内分泌	千葉	実習
34	各論講義 9	泌尿器	千葉	講義
35	各論実習 1 1	内分泌・泌尿器	千葉	実習
36	各論講義 1 0	リンパ・リンパ組織	三浦	講義
37	各論講義 1 1	中枢神経	三浦	講義
38	各論実習 1 2	リンパ・リンパ組織	三浦	実習
39	各論実習 1 3	中枢神経	三浦	実習
40	各論講義 1 2	生殖器	千葉	講義
41	各論実習 1 4	生殖器①	千葉	実習
42	各論実習 1 5	生殖器②	千葉	実習
43	各論実習 1 6	中枢神経・リンパ組織・内分泌・泌尿器・生殖器 <u>(復習 2)</u>	濱田	実習
44	各論講義 1 3	特別講義 (ゲノム解析と個別化医療 (仮))	古川 (東大医科研)	講義

<b>【アクティブラーニングの内容】</b> 実習は組織標本のスケッチを中心に行うが、スケッチには組織・器官の特徴となる部分を指し示し、説明を書き入れる。組織標本の観察から、各器官を同定することができ、かつその根拠を述べることができることを目標とする。	<b>【その他の工夫】</b>
---	-----------------

<b>【時間外学修の内容と時間の目安】</b>	
準備学修	Moodle にアップロードする講義・実習資料に目を通す ( 10 h)。
事後学修	スケッチを完成させ、講義・実習内容を復習する ( 12 h)。

**【教科書】**  
 Mescher 著 ジュンケイラ組織学 第 6 版 (原著第 16 版) (丸善出版) 2024, ISBN 978-4-621-30885-1  
 Moodle にアップロードする講義・実習資料を使用する。

**【参考書】**  
 阿部・牛木著 組織学 改訂 20 版 (南山堂) 2019, ISBN 978-4-525-11080-2  
 坂井・河原編 人体の正常構造と機能 第 4 版 (日本医事新報社) 2021, ISBN 978-4-7849-3181-1  
 駒崎著 バーチャルスライド組織学 (羊土社) 2020, ISBN 978-4-75812105-7  
 Young ら著 ウィーター図説で学ぶ機能組織学 原著第 6 版 (エルゼビア) 2018, 978-4-86034006-3

**【成績評価方法及び評価の割合】**  
 講義の単位取得には総論・各論の計 2 回行われる筆記試験の両方に、実習の単位取得には同様に計 2 回行われる総合評価 (提出スケッチ 10%・実習試験 90%) の両方に合格することが必要である。総得点 60%以上に加え、各教官の出題範囲 (配点) あたり 40%以上の得点を合格の要件とする。

**【注意事項】**  
 講義・実習およびその資料 (特に人体および人体標本とその写真・ヒト以外の動物および動物標本とその写真) の撮影・録画・録音、インターネットへの掲載・投稿をしないこと。講座・学務課から送られるメールのチェックを怠らないこと。

**【備考】**  
 実習にやむを得ない理由で遅刻、欠席する場合には、その理由を証明する書類を提出すること。講義実習棟改修工事の進捗状況によって、講義・実習予定が変更される可能性がある。

リンク	URL	
教員の実務経験の有無	○	
教員の实務経験		濱田文彦・千葉政一 (医師)
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		なし

実務経験をいかした 教育内容	必要に応じて、講義・実習内容の臨床的意義を解説し、学生の学習意欲を高める。
授業形態	対面授業